

議会

だより

い

な

が

わ

第179号

令和3年(2021年)5月1日
発行：兵庫県猪名川町議会

議案審議	令和3年度主な新規事業	つながりと挑戦	2
予算審査	新型コロナウイルス	ワクチン接種事業に総力	4
委員会の活動報告	道の駅移転の債務負担を減額	他	6
会派を代表し町長に問う			8
一般質問	3人が町の考えを問う		12

おままごと
(総合公園)

令和3年度 主な新規事業 つながりと挑戦

第404回 3月定例会

2月24日から3月26日まで31日間開会し、専決処分4件、3年度各会計当初予算7件、2年度各会計補正予算7件、人事案件2件、条例制定1件、条例改正9件、規約改正1件、町道認定1件、土地の取得1件を審議した。一般会計について修正案が提出され、賛成少数で否決された。議案第18号、議案第29号は賛成多数で可決した。その他の議案は、すべて原案どおり同意・可決した。なお、代表質問は4人、一般質問は3人が行った。

学校給食地産地消 331万9千円



給食センターに長期保管する保冷庫の設置など

農地利活用推進 51万5千円



取得面積を10aに引き下げ、新規参入を促進

道路拡幅設計 997万6千円



紫合橋の幅員が狭く改良事業を行う

都市計画マスタープラン等策定 1348万1千円



市街化調整区域の土地利用の方向性を示す

学校ICT強化 82万5千円



小・中学校へ情報教育指導員派遣

人事案件

教育長の選任に同意
中西正治氏
固定資産評価審査委員会委員の選任に同意
吉野智市氏

障がい者外出支援 550万5千円



重度障がい者にタクシー助成券

町道認定

大野山の町道路線の認定、変更及び廃止。
土地の取得
道の駅移転先の南田原地区の田・畑・水路など3万6927・5㎡を5億5229万7290円で購入。

条例改正の主なもの

敬老祝金条例の一部改正
100歳の敬老祝金3万円を1万円に減額。
福祉医療費の助成に関する条例の一部改正
ひとり親控除制度を新設。

討論

賛成 3年度一般会計予算に対する道の駅整備事業費を減額する修正案
(賛成4、反対10で否決)
3月12日定例会で、土地購入の案件が可決している。登記も完了している。維持管理費用は当然必要。

賛成 農業の生産現場支援策が予算に十分に盛り込まれていない。道の駅整備事業しか予算計上されていない。
(賛成5、反対9で否決)
5年にわたる議論し、議会として対応してきた。これをゼロ円にする案は理解できない。

賛成 2年度一般会計補正予算に対する道の駅整備事業に係る債務負担行為をゼロ円にする修正案
(賛成10、反対4で可決)
これまでの議会答弁を覆してまで、移転先用地を購入するなど、看過できない。
常任委員会でも慎重に審議してきた。コロナ禍であるからこそ、医療、子育てなどの福祉施策を前に進めることを切望する。
コロナ禍で苦しむ住民に

賛成 2年度一般会計補正予算
(賛成10、反対4で可決)
道の駅機能拡大の事業者のリスクは、軽微でいつでも撤退でき、町にとってはリスクが格段に高いものになった。

賛成 新型コロナウイルス感染対応のための学校への衛生対策や、飲食店などへの時短営業に対するの協力金などで、極めて重要。
(賛成11、反対3で可決)
100歳という大きな節目に、本町の主体性を持って3万円を維持するべき。

賛成 敬老祝金条例の一部改正
(賛成11、反対3で可決)
100歳という大きな節目に、本町の主体性を持って3万円を維持するべき。

賛成 2年度一般会計補正予算
(賛成10、反対4で可決)
道の駅機能拡大の事業者のリスクは、軽微でいつでも撤退でき、町にとってはリスクが格段に高いものになった。

賛成 2年度一般会計補正予算
(賛成10、反対4で可決)
道の駅機能拡大の事業者のリスクは、軽微でいつでも撤退でき、町にとってはリスクが格段に高いものになった。

賛成 土地の取得
(賛成9、反対5で可決)
計画内容が決定し、その後の実施段階で、土地を購入するという基礎的な手順は、しっかりと守るべき。

賛成 道の駅移転
(賛成11、反対3で可決)
100歳という大きな節目に、本町の主体性を持って3万円を維持するべき。

賛成 2年度一般会計補正予算
(賛成10、反対4で可決)
道の駅機能拡大の事業者のリスクは、軽微でいつでも撤退でき、町にとってはリスクが格段に高いものになった。

賛成 2年度一般会計補正予算
(賛成10、反対4で可決)
道の駅機能拡大の事業者のリスクは、軽微でいつでも撤退でき、町にとってはリスクが格段に高いものになった。

議案等の審議結果 ※全員が賛成の議案は表示していません。

議案名等	修正案	議員名															
		南	阪本ひろ子	岡本信司	福井澄榮	宮東豊一	加藤郁子	福井和夫	古東明子	丸山純	井戸真樹	池上哲男	中島孝雄	山田京子	上林辰巳	山下修	下坊辰雄
議案第3号 3年度一般会計予算	修正案	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	欠	○	—
	原案	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○
議案第10号 2年度一般会計補正予算(第8号)	修正案	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	欠	○	—
	原案	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○
議案第18号 敬老祝金条例の一部改正について		○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○
議案第29号 土地の取得について		○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—

○…賛成 ●…反対 ※下坊辰雄議長は採決に加わらないため「—」で表示。

令和3年度当初予算 総額201億6611万8千円(前年度比1.2%減)

質疑

新型コロナウイルス ワクチン接種事業に総力

くらし

◎ 新型コロナウイルスの集団接種でイナホールの六瀬住民センター、日公民館の3会場に必要な医師、看護師を配置できるのか。

▲ 川西市医師会と協議し、医師による接種が難しく、看護師接種に切り替えるの対応を検討している。複数の接種会場で同時実施はしない形で医師を確保する。



◎ 毎月窓口での納税者は何%か。

▲ 40・2%で17億3462万9千円。

◎ 4月以降に導入するスマホ決済の内容は。

▲ 対応アプリは、PAY PAY、LINEPAY、Pay B、支払秘書である。

農業

◎ 新規就農確保事業の

現状と今後は。収益確保は。学校給食の地産地消に結び付けられないか。

▲ 新年度に認定予定の3名を含め8名となる。経営状況が苦しいという声は聞かない。給食の地産地消については、補助金で安定的に出荷してもらえる環境を整備する。

環境

◎ ごみ減量化対策で食品ロスへの取り組みは。

▲ 全県的なフードドライブの推進ネットワークに参加して、県内の取組状況などを情報収集する。

◎ ごみ出し支援のあり方の検討状況は。

▲ ごみ当番の負担を軽減する方策を関係課と協議中。地域の声も聞きながら進めていく。

都市政策

◎ 7月からデマンド交通の有償実験が始まるが、定期券や回数券、小児運賃の設定は。

▲ デマンド交通の需要

と運行経費、利用者意見、行政負担の妥当性などを総合的に考え、評価指標を設けて検証を行う。

企画総務

◎ 広報事業で新たに導入するLINEのセキュリティ対応は。

▲ 職員用業務端末とは切り離し、安全に情報発信ができるようにする。

◎ ホームページのシステム改修の内容は。

▲ 情報を端的に見つけられる構成に変えて、町全体のプロモーションの強化につなげる。

消防

◎ 高機能指令システムのメリットは。

▲ 本町に出勤可能な救急車があっても、市町境界付近で他市の救急車が早く着く場合は、指令システムによって自動的に他市の救急車が出動する仕組みになっているため、到着時間が約7分間短縮される。

住民保険

◎ がん検診で新たに胃内視鏡検査が導入されるのか。また、いつからか

▲ 4年度から個別医療機関での実施を想定し、3年度はその準備費用を負担。胃内視鏡検査は50歳以上が対象で、40歳以上50歳未満の人と集団検診においては、今後もバリウム検査を実施する。

福祉

◎ 性多様性相談業務の相談体制は。また、児童生徒への周知方法は。

▲ 相談員は一人で、相談日は毎月1回。本年4月から阪神間全てにおいてパートナーシップ制度を導入。広報やポスターなどでPR。小・中学校への啓発は、今後検討する。
◎ 障害者外出支援事業補助金について、タクシー助成券のチケット利用方法と利用範囲は。
▲ 1枚千円のタクシー券を12枚交付。タクシー券を使える事業所は現在

6社で、そのうち3社は車いす対応の介護タクシーもある。

教育

◎ スクールバス購入費3742万4千円で3台分とのことだが、町の所有が。また、運転手も町で確保して運行するのか。

▲ 町が所有し、運行は業務委託とする。

◎ 教職員の働き方改革により、長時間の時間外労働などの問題は改善されているのか。

▲ ここ数年で時間外の留守番電話対応や会議などを短くするためのペーパーレス化に取り組み、定時退勤日も定着している。

国民健康保険

◎ マイナンバーカードが保険証の機能を果たすのは、いつからか。

▲ 3年3月から始まっているが、各病院で読み込むための機械を設置すれば、運用開始できる。

介護保険

◎ 脳の健康教室で、町が負担していた教材費を自己負担にした理由は。

▲ もっと教室を増やしたいという希望があり、今まで、自己負担としていた事務費やサポート費用などは町が負担し、個人の教材費を自己負担とした。



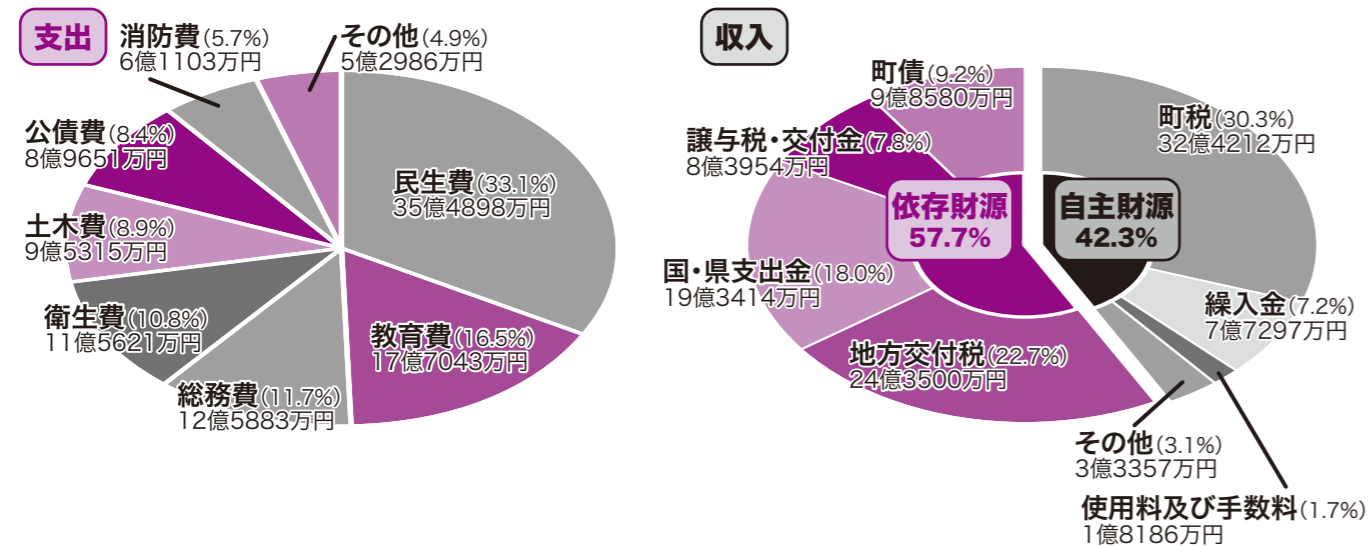
脳の健康教室教材

奨学金

◎ 予算額が前年度と比べて大幅に増えているが、対象者の人数は増えているのか。また、コロナと関係があるのか。

▲ 少子化により対象となる人数は減っているが、貸付件数は増加。啓発による奨学金制度の周知により利用者が増えている。コロナで収入が減ったという話は聞いていない。

一般会計 107億2500万円



3年度 会計別の予算額

会計区分	当初予算	対前年度増減 (%)
一般会計	107億2500万円	△ 4.0
特別会計	国民健康保険	32億8822万円 1.0
	介護保険	24億5375万円 3.4
	後期高齢者医療保険	8億5619万円 5.9
	奨学金	3139万円 66.1
	小計	66億2955万円 2.7
企業会計	水道事業会計	11億420万円 6.8
	下水道事業会計	17億737万円 △ 2.0
	小計	28億1157万円 1.3
合計	201億6612万円	△ 1.2

*各会計ごとの予算額を万単位で表示しているため端数処理をしています。そのため、実際の予算額と一致しない場合があります。

- 【自主財源】 町が自ら徴収・収納することができるお金。
- 【依存財源】 国や県の基準に基づき交付されるお金。
- 【繰入金】 他の会計や基金（貯金）から入ってくるお金。
- 【国・県支出金】 国や県から交付されるもののうち、使い道が特定されるお金。
- 【公債費】 町が国などから借り入れたお金の返済に要する経費。人件費、扶助費とともに義務的経費のひとつとなっている。

総務建設

道の駅移転の債務負担を減額

2月25日、委員会を開会し、付託3議案を審査。主な質疑は次のとおり。

2年度一般会計補正予算

道の駅整備事業の債務負担行為補正が減額に至った経過及び内容は、

A 事業者にアンケート調査を実施、公募条件の一部見直しを検討してきた。屋外施設は多様な施設のあり方が考えられ、事業者の提案により具体化する。温浴施設を見直し、37億3800万4千円から24億7110万円に減額となる見通しである。国費の補てんもあり町の実質負担額は9億円以内としている。

Q 新しい道の駅の集客数見込みは。また、国からの交付金の見込額は。

A 利用者は現在の倍の140万人、交付金は4億円を見込んでいます。

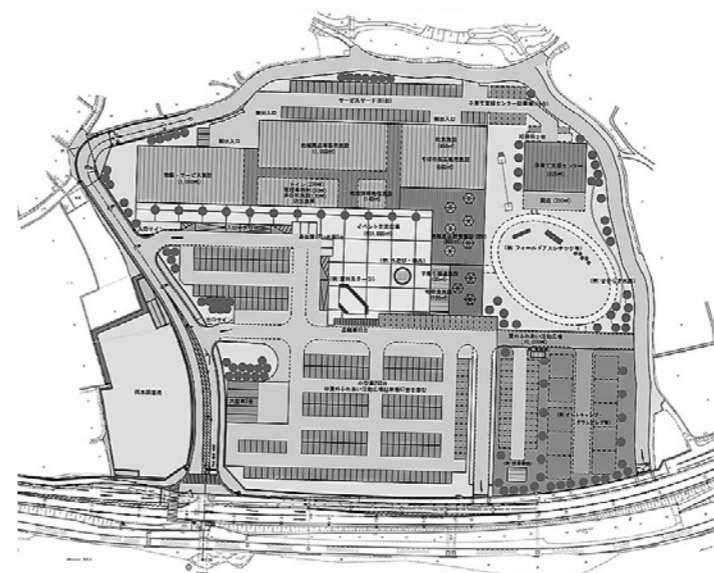
Q 温浴施設から屋外施設へと内容が変わっているが、道の駅での購買などにつながるのか。

A 本来の道の駅の機能である、安全で安心な野菜など、地域の農産物を買ってもらう道の駅を目指す。

Q 町民税の法人税割の減収について、企業や事業所が何カ所廃止になったのか。

A 金融関係が1カ所、建設関係が1カ所、介護関係が1カ所の計3カ所が廃止となった。

(補正予算の修正案が提出され、可否同数のため委員長裁決により可決。)



道の駅施設配置イメージ(参考図)

2年度水道事業会計補正予算

新型コロナウイルス関係で、水道料金が払えないという人が増えているが。

A 生活困窮者で支払いが困難な人は、分納で対応している。

2年度下水道事業会計補正予算

(いずれも全会一致で可決)

町道路線の認定・変更・廃止

総務建設常任委員会

3月11日、現地視察。

認定する路線

柏原1号線 1887・7m

柏原27号線 301・0m

変更する路線

柏原14号線

変更前 2856・2m

変更後 4867・6m

廃止する路線

柏原1号線 1749・5m

説明後、大野山周辺の現地視察を行い、全会一致で可決。



町道認定予定地を視察

生活文教

子育て支援などをインターネットで

2月26日、委員会を開会し、付託5議案を審査。主な質疑は次のとおり。

2年度一般会計補正予算

学童保育にWiFiを設置することだが、活用方法は。

A リーダーとのやり取りを、全てデータ化することで事務の軽減化を図っていく。

Q キッズフェスティバルなどのイベントを、今後リモートで実施する考えは。

A オンラインでの子育て相談を2月22日から開始している。3年度は、オンラインによる子育て講座や研修などを進める。

Q 休校の際に児童が家庭でタブレットを使用することのだが、ネット環境のない家庭を把握しているか。

A モバイルルーターを配布し対応した。

2年度国民健康保険特別会計補正予算

一般被保険者療養給付費の増額要因は。

A 入院療養者に高額な人がおり、その影響が主な要因である。

2年度介護保険特別会計補正予算

保険者努力支援交付金が入ってくるが、どのような取り組みが評価されたのか。

A 第8期介護保険事業計画の策定、ケアマネージャーの地域支援事業、認知症の初期集中支援、介護予防の健康づくりの取り組みなど。

2年度奨学金特別会計補正予算

滞納徴収にコロナの影響はあるか。

A 滞納徴収は例年文書も含めて年3回実施しているが、2年度はコロナ禍のため文書通知を2回とした。

(その他1議案も審査。いずれも全会一致で可決)

3月12、15日に委員会を開会し、付託10議案を審査。

主な質疑は次のとおり。

火災予防条例の一部改正

電気自動車の急速充電設備がイオンに2台あるが、改修は事業者負担か。補助制度はあるのか。

A 今回は改修の必要はない。設置する場合は国の補助制度がある。

指定居宅介護支援等の事業の人員および運営に関する基準を定める条例の一部改正

Q 主任介護支援専門員を管理者にするというところが、本条例改正により、猶予されるということが、また、近隣も同様か。

A 3年3月31日までが、9年3月31日まで延長になった。全国でこの法律は適用となる。

敬老祝金条例の一部改正

(賛成多数で可決)

(その他9議案は全会一致で可決)



リモートなら表情も伝わる(子育て支援相談員)

Q プロジスパークの町税の収入総額は

A 5年度で6億600万円と試算

町長 4年から、固定資産税が課税される見込みで、土地は3000万円程度、家屋は約2億8000万円を見込んでいます。これに法人住民税、都市計画税を見込んでおり、4年度の課税合計で約3億7300万円と試算している。5年度は、さら

本年8月にプロジスパーク猪名川2が、11月にはプロジスパーク猪名川1が竣工予定であるが、本件で4、5年に想定される町税収入の種類と額は、また、以前1500人の内500人程度は町民を雇用してほしいと本町からプロジスパーク側に要望しているが、その後、進出企業などとの協議はどうか。



丸山 純 議員

丸山 純議員
井戸 真樹議員



民主猪名川

町長 排出ごみの収集方式は、ステーション方式と戸別収集があるが、ステーション方式での自治体が全国では約9割である。阪神間においても、尼崎市のみが戸別収集である。ごみ袋の有料化に

ごみ処理は高齢者にとって、最大の悩みのひとつ。早期に今までの収集方式をやめ、戸別収集に変更すると同時に、ごみ袋を有料化はどうか。

町長 留守家庭児童育成室の手洗い場では、非接触の手洗い場に変更していない箇所があるが、設置予定は。町長 児童生徒が日常的に使用するトイレの手洗い場は、自動水栓がほぼ完了している。感染予

3年度から一般会計予算で管理する学校給食の「公会計」による運営となるが、これまでと、今後のやり方の違いについて、わかりやすく説明を。町長 「公会計」になると、保護者の口座から直接、町一般会計に口座振替が行われ、集金作業について今後、教職員が携わることはない。

本町のマイナンバーカードの普及率は。町長 3年1月現在、交付枚数が1万858枚で普及率が35.2%と県内全市町の中で第4位である。については現時点では導入は考えていない。



建設中のプロジスパーク(差組地区)

Q 本町が目指すべき道の駅とは

A 新道の駅を拠点とした町活性化を図る

町長 道の駅機能拡充は、新たなまちの魅力創造に直結する事業である。「職住近接のまちづくり」をテーマとし、「町地域創生総合戦略」の中で重点プロジェクトと位置付け、検討を重ねてきた。その間、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などで、事業者公募の延期や事業内容の見直しを余儀なくされたが、これにより、施設整備に係る債務負担行為額を37億

新しい道の駅の果たすべき役割は多岐に渡る。今までとはまったく異なる新しい生活様式になるであろうアフターコロナ、ウィズコロナの世界において、本町が目指すべき道の駅とは。



宮東 豊一 議員

豊一議員
宮東 豊一議員
宮加古 福



いながわ煌星

町長 3年度には、地域公共交通活性化再生法に基づく「町地域公共交通計画」を策定する。本町における将来の公共交通ネットワークを実現させるために、必要な取り組みの方向性や施策を定め、地域特性や利用実態に応じた持続可能な交通体系を構築し、総合的な交通ネットワークの形成を目指す。

新道の駅が果たすべき役割として、公共交通の結節点となることを期待するが、誰もが安全に安心して利用できる新しい公共交通システムについては、どう考えるのか。

町長 新設される清陵中学校は、単に生徒数が減った2つの学校を統合するものではない。そこでは、どのような子どもを育てようとするのか。町長 予測困難な未来社会にあつて、誰かが夢を描いてくれるのではなく、自分自身が夢を描き、その実現に向けて自分で人生を切り拓いていく。そんな力を育成していく。「自分で考え議論する学校」を重要なコンセプト

減少に歯止めをかける施策と考えるが。町長 農業と福祉が連携することは、障がい者が農業分野での活躍を通じて、自立支援や生きがいを創出し、社会参加を促す取り組みと考える。農福連携が進むことで、障がい者が農業の担い手として活躍し、農業就業者が増えることで、遊休農地の発生防止も期待できるなど、有効な事業であることから、様々な農業施策活用に向けたアドバイス、支援をしていく。

3800万4千円から24億7110万円に減額し、町実質負担額を9億円以内とした。本事業は本町の将来を見据えた最重要事業であり、町全体の活性化や観光、農業振興などの拠点施設となるよう目指していく。

とし、学校と地域が一体となり、従来の枠にとらわれない新しい学校づくりを目指す。



本町活性化には欠かせない道の駅(万善地区)

Q 在宅介護が必要な人への 接種対応は

A 訪問診療時に行えるよう協議している

町長 在宅での接種は、訪問診療時に行えるよう関係医療機関と協議し、かかりつけ医にも、できる限り多くの協力を依頼する。医療従事者については、医師会と調整し町内の医師の派遣を依頼。看護師も町内医療機関や看護師業務を受託している事業所とも協議し、早急に必要数を確保する。

町長 広報やホームページの他、公証役場などの関係機関窓口へ、啓発チラシの設置や掲示を行い、離婚相談時に事業を紹介し、公正証書や調停調書の効力や重要性を発信し、養育費を継続的に受け取り、

子どもを招く養育費の不払い問題に関し、養育費の取り決めに係る公正証書作成手数料などの補助に関する周知方法と、協議の場を持つことの推奨方法は、



ワクチンの集団接種会場となる文化体育館(イナホール)



阪本ひろ子 議員

初男議員
南 阪本ひろ子議員



公明党

町長 約1500人の雇用を見込んでおり、移住者を募る良い機会になる。企業立地支援制度により、町内在住者を雇用した場合など、企業に対して一定の支援を行い、転入した常用従業員へも奨励金を支払う。3年度、移住相談窓口を開設し、支援制度の相談をワンストップでできるよう整備する。

子どもたちが安定した生活を送れるよう努める。ひとり1台のタブレット端末の活用において、学

者助成制度の調査研究を行う。

ひとくちメモ
OJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)
職場の上司や先輩が、部下や後輩に対して、実際の仕事を通じて指導し、身に付けさせる教育方法。

Q 9億円では済まない 事業条件に修正か

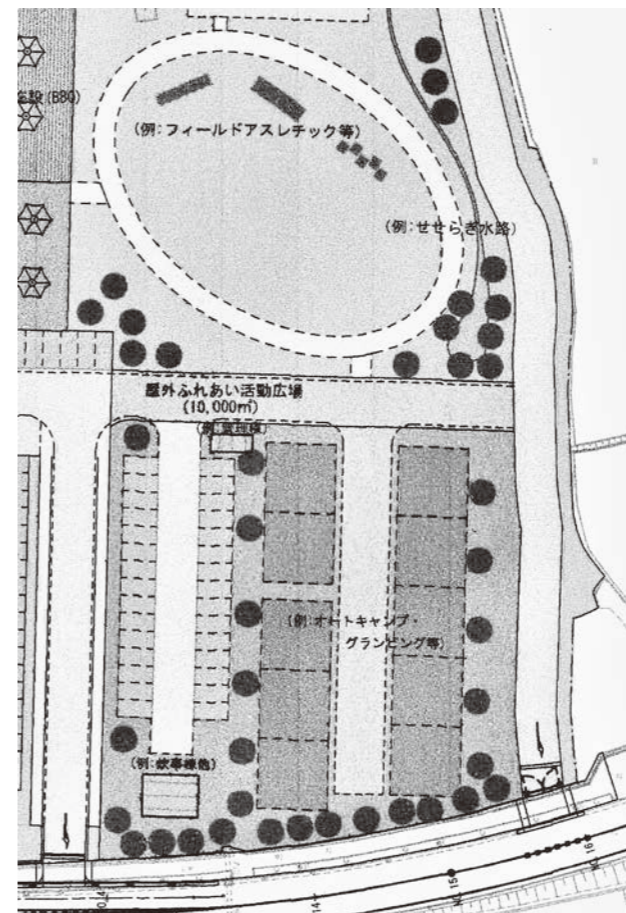
A 基本計画の方針を見直すものではない

道の駅整備事業について「将来にわたり持続可能な行政運営を進めていくには、町の身の丈にあった機能拡充」であるべきとの、わが会派の姿勢は変わらない。コロナ禍で温浴施設がなくなり、屋外ふれあい広場が敷地面積の約3分の1にあたる1万㎡を埋めるなど、事業予定地の内容が大きく変わり、最悪の場合9億円以内の出費では済まない事業条件に修正を加えている。改めて住民へ丁寧に説明し、議会にもきちんとした説明を行うことが求められる。強引に進める姿勢には納得できない。住民の疑問や不安の声にどう答えるのか。

町長 道の駅整備事業は平成27年度に町域創生総合戦略の中で、重点プロジェクトとして位置づけ、取り組んできた。議会においても、特別委員会を設置し、慎重な審議を重ねてきた。住民に対しては、複数回にわた

町長 住民の町政に対する意見や要望などを広く聴き取り組みとして、小学校区を基本に設置しているまちづくり協議会に、地域担当部長などが参画し、地域と行政のパイプ

役となるよう取り組んでいる。まちづくり協議会との町長懇話会なども、地域からの要望にあわせて開催している。町政に対する考えを伝え、住民と直接話しができる場となっている。



道の駅移転先の屋外ふれあい広場配置図イメージ



岡本 信司 議員

信司議員
岡本 福井 澄榮議員



グリーンズいながわ

町長 道の駅整備事業は平成27年度に町域創生総合戦略の中で、重点プロジェクトとして位置づけ、取り組んできた。議会においても、特別委員会を設置し、慎重な審議を重ねてきた。住民に対しては、複数回にわた

町長 住民の町政に対する意見や要望などを広く聴き取り組みとして、小学校区を基本に設置しているまちづくり協議会に、地域担当部長などが参画し、地域と行政のパイプ

役となるよう取り組んでいる。まちづくり協議会との町長懇話会なども、地域からの要望にあわせて開催している。町政に対する考えを伝え、住民と直接話しができる場となっている。

町の考えを問う

第404回定例会 一般質問

※各議員のQRコードでは、一般質問の動画が視聴できません。

質問順	質問者氏名	質問事項
1	古東 明子	○安全で円滑な新型コロナワクチン接種の実施は ○企業誘致への支援体制の考えは
2	福井 澄榮	○子育て支援センターの移転を問う ○義務教育の給食費の無償化を早急に ○学校現場のICT化の進捗状況は
3	山田 京子	○コロナ禍における生活支援を問う ○障がい者の生涯学習を ○住民への施策説明は

(詳細は12～13ページをご覧ください。)

Q 子育て支援センターは幼稚園跡地へ

A 南田原の道の駅移転先に移転させる



福井 澄榮 議員



子育て支援センターを移転させるなら、液状化が懸念される南田原の道の駅移転先ではなく、災害時に、より安全な松尾台幼稚園、つつじが丘幼稚園の跡地を利用することが子どもの安全、公共施設の有効利用、公金の支出削減になるが。

生活部長 跡地利用は当然のことだが、起こり得る災害のリスクもふまえた上で、移転の判断をしている。

援すべきである。会派でも予算要望しているが、**教育部長** 給食の材料費は保護者負担。3年度に予定していた1食当たり15円の値上げをコロナウイルスの影響で1年間据え置く。県内明石市、相生市は無償化だが、本町は現時点で無償は考えていない。

学校現場のICT化の現状は。
教育部長 プログラミング的思考を育てており、意欲的に学習に取り組んでいる。3年度から専門の講師を招へいして全体的な底上げを図る。



子育て支援センター



つつじが丘幼稚園



松尾台幼稚園

Q 住民に説明責任を果たしたと言えるか

A 説明責任は果たしていると考え



山田 京子 議員



2月19日、行政報告により、道の駅整備事業の大幅な内容変更を知らされた。広報いながわ3月号には一番大切な債務保証についての記述がなく、町が支払うという大事なところを削除した記述になっている。これまでの計画から大きく変更された点など住民へ説明することが重要だと考える。道の駅移転計画について住民に対する説明責任を果たしたと言えるのか。

企画総務部長 多様な行政運営を進めていく段階において、町議会をはじめ住民への情報提供、意見聴取など十分な対応を

行ってきたものと考えており、説明責任は果たしている。今後とも行政情報の積極的な公開に努め、行政運営の透明性の向上と、住民参画による円滑な施策展開を図る。

障がい者を対象とした学びや体験の場を作っているのか。
生活部長 障がい者が地域やスポーツ、芸術文化などの活動に参加できるように参加機会の充実に取り組む、生涯を通じた様々な機会に親しむことができるよう、教育・スポーツ・福祉・労働など各施策を連動させながら支援する環境整備に努めている。



道の駅移転予定地(南田原地区)

Q 安全で円滑なワクチン接種の実施は

A 速やかに接種できるよう努める



古東 明子 議員



接種対象人数と、安全で円滑に実施するための方法は。また、医療機関での個別接種はできるのか。イオン猪名川店は接種会場となるのか。

企画総務部長 対象者は、65歳以上が9295人。常設会場は、文化体育館。臨時会場は、日生公民館及び六瀬総合センター。完全予約制で行う。速やかに接種するため、問診を行う医師が最大で6名、接種を行う看護師が4名で対応。個別接種も実施に向けて調整中。イオン会場は、現在、設置しない考えである。

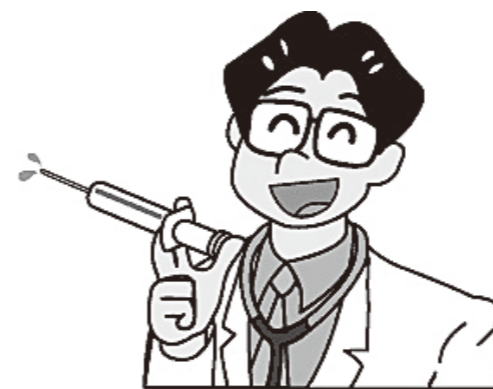
在宅での訪問接種はできるのか。

企画総務部長 訪問診療時に接種できるよう協議中。

企画総務部長 看護師などが経過観察。副反応があれば、医師が応急治療。救急車両の配備も検討。

差組地内で建設中のプロロジスパークは、雇用と財源確保の大きな成功例である。
新名神高速道路の開通後、企業から、町で土地を探しているなどの問い合わせはあるのか。

地域振興部長 問い合わせは数件あるが、場所がない。



学童の見守りと健康



若葉地区猪名川つこ守り隊
松重 信之

ボランティアのきつかけは、若葉自治会班長会のメンバーのお誘いでした。平成22年に猪名川つこ見守り隊員として町に登録し、以来今日まで12年間見守り活動を続けています。メンバーの変遷はあるものの、現在20名のメンバーが、交通量の多い3地点で見守り活動をしています。最高齢は90歳の女性の方で元気に活動されています。この間幸いにも大きな事故もなく地域の安全・安心に少しは貢献できたのではと思っています。

私自身も12年間風邪一つひかず見守り活動をしています。これも成長盛りの子どもに接することで心身ともに元気の源になっているのではと

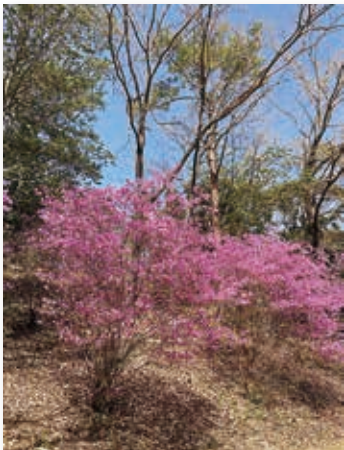
思っています。また、このご縁で先生・学童の父母・熟年クラブの方々の知友を得たことも人生の大きな転換点となりました。



おかえりなさい

熟年クラブでは若葉にお住いの60歳以上の方の会員を募っています。興味ある方は、第3金曜日午前10時に自治会館に於いて月例会を開いています。是非覗いてみてください。

町内のイベントを映え



ミツバツツジ (大原公園)



親子でお花見 (南田原地区)



卒業式の朝、友だちと

みなさんも議会・委員会を傍聴しませんか

町議会では、身近な問題などを議論しています。まちづくりと一緒に考えてみませんか。
傍聴の手続きは簡単です。当日、議会事務局で受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。
(新型コロナウイルス感染症対応のため議場10人、委員会室5人に制限)

6月定例会

〈本会議の日程〉

- 第1日 6月4日(金)
- 第2日 6月11日(金)
- 第3日 6月18日(金)

〈常任委員会の日程〉

- 総務建設常任委員会 6月8日(火)
- 生活文教常任委員会 6月9日(水)

※いずれも午前10時から。議事の都合により、また、新型コロナウイルス感染症の状況により、日程など変更することがあります。

会議録の閲覧

本会議・委員会の会議録は、議会事務局・図書館・日生連絡所・六瀬総合センターで閲覧できます。また、ホームページからも本会議、各常任委員会の会議録をご覧になれます。

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



発行 猪名川町議会
編集 議会広報特別委員会

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑 11-1
TEL072-766-8710 FAX072-766-8882